



2011長野大会(3.5MHz)での 私の判断と行動

2011年6月11日(土)
於 長野県富士見高原

安島 巧

信州八ヶ岳高原

長野県脚防峠富士見高原

この地図は、地形図のデータを元に作成されたもので、正確な位置を示すものではありません。また、この地図は、地形図のデータを元に作成されたもので、正確な位置を示すものではありません。

Thinking GPS
GPSデータ

YONICORSE
MAP 02
FREEDOM
http://www.yonichorse.jp

縮尺1:15
Scale
等高線間
Contour interval

2011 ARDF 長野大会

6月11日(土) 3.5MHz

緊急時の連絡

事務局 〒185-0001 長野県下諏訪町

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

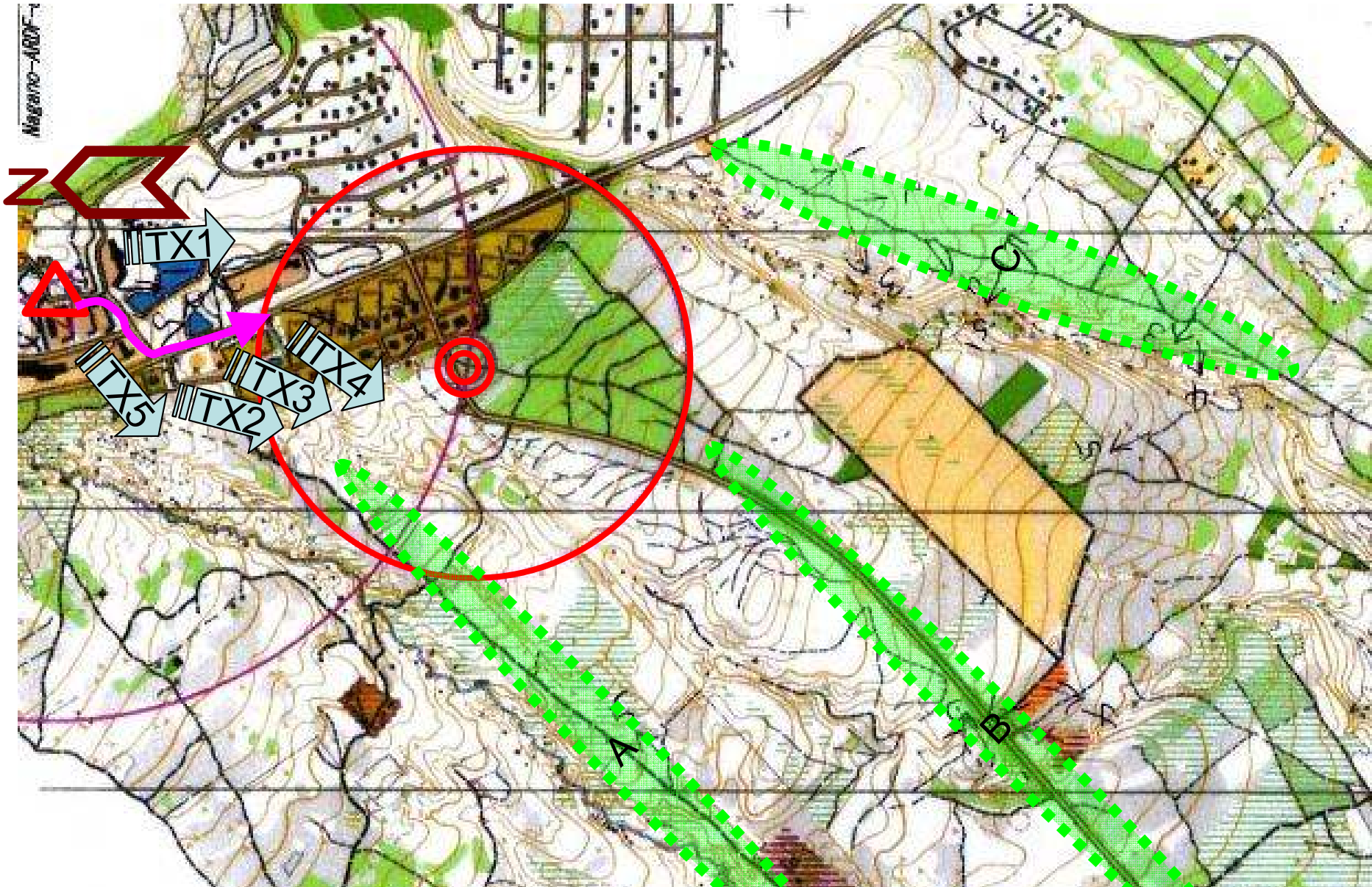
ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

信州八ヶ岳高原



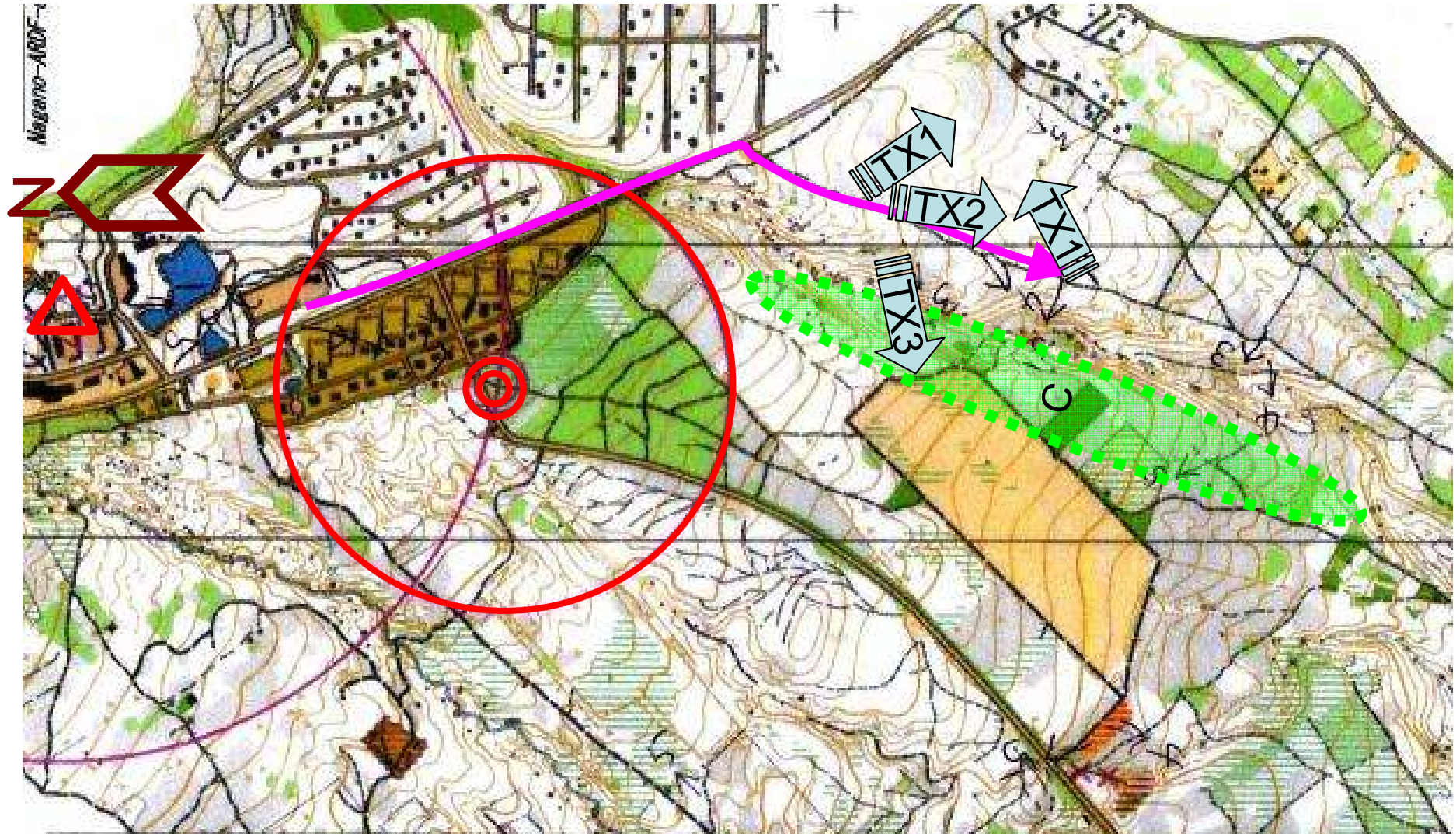
①スタート前の地図読み

山の斜面を道A、道B、道Cを使って下って上るコース。メインレインは道B,C領域であり、道Aには1ないし2個。上りでゲットするのはきついで、道Cで下り、道BないしAで上ることを考える。



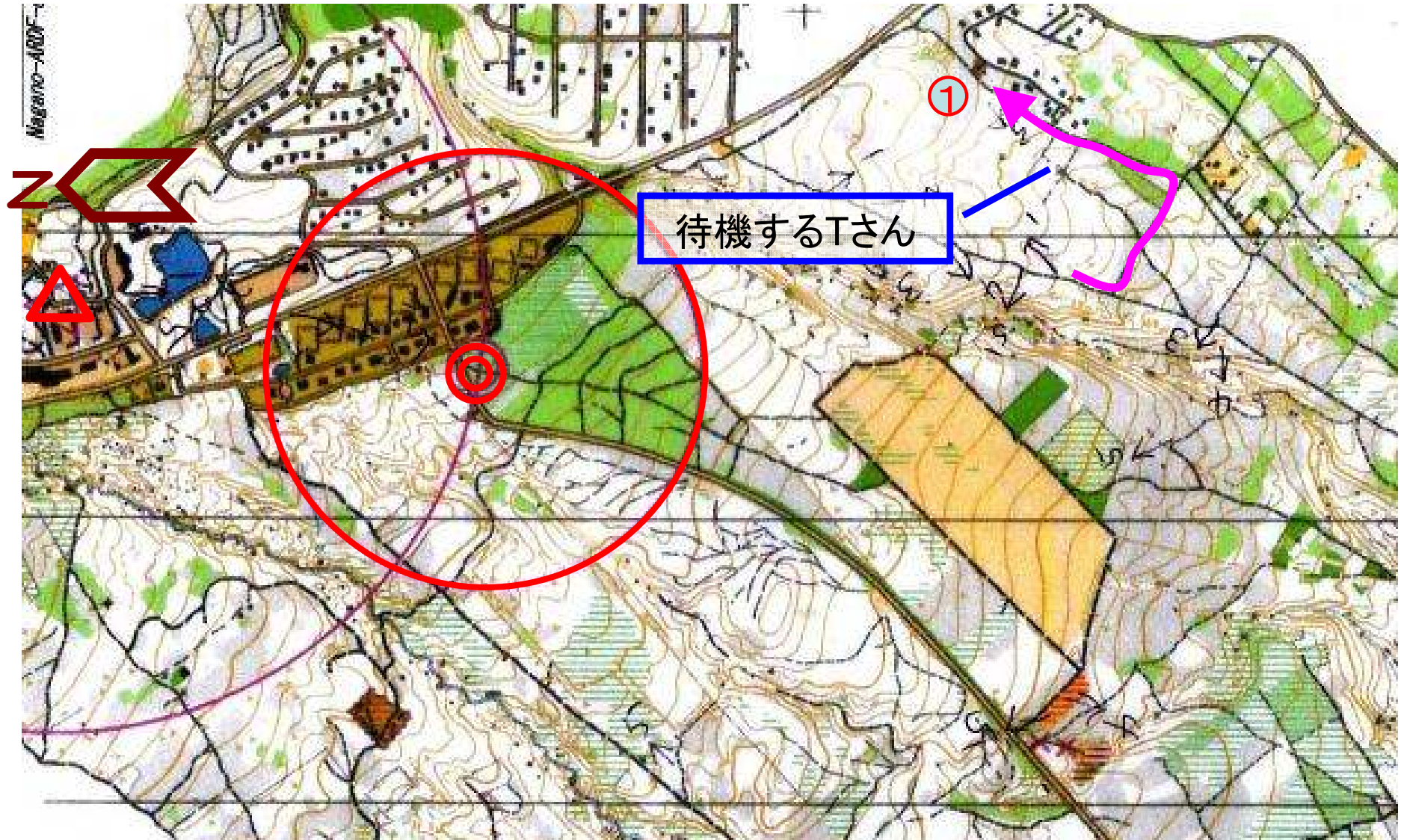
②探索開始地点
TX5のみ道A方向、TX1は道C方向、他はその中間。とにかく道Cへと進む

東北、四山、山形、山梨、長野、新潟、富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口、鳥取、島根、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口、鳥取、島根、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川



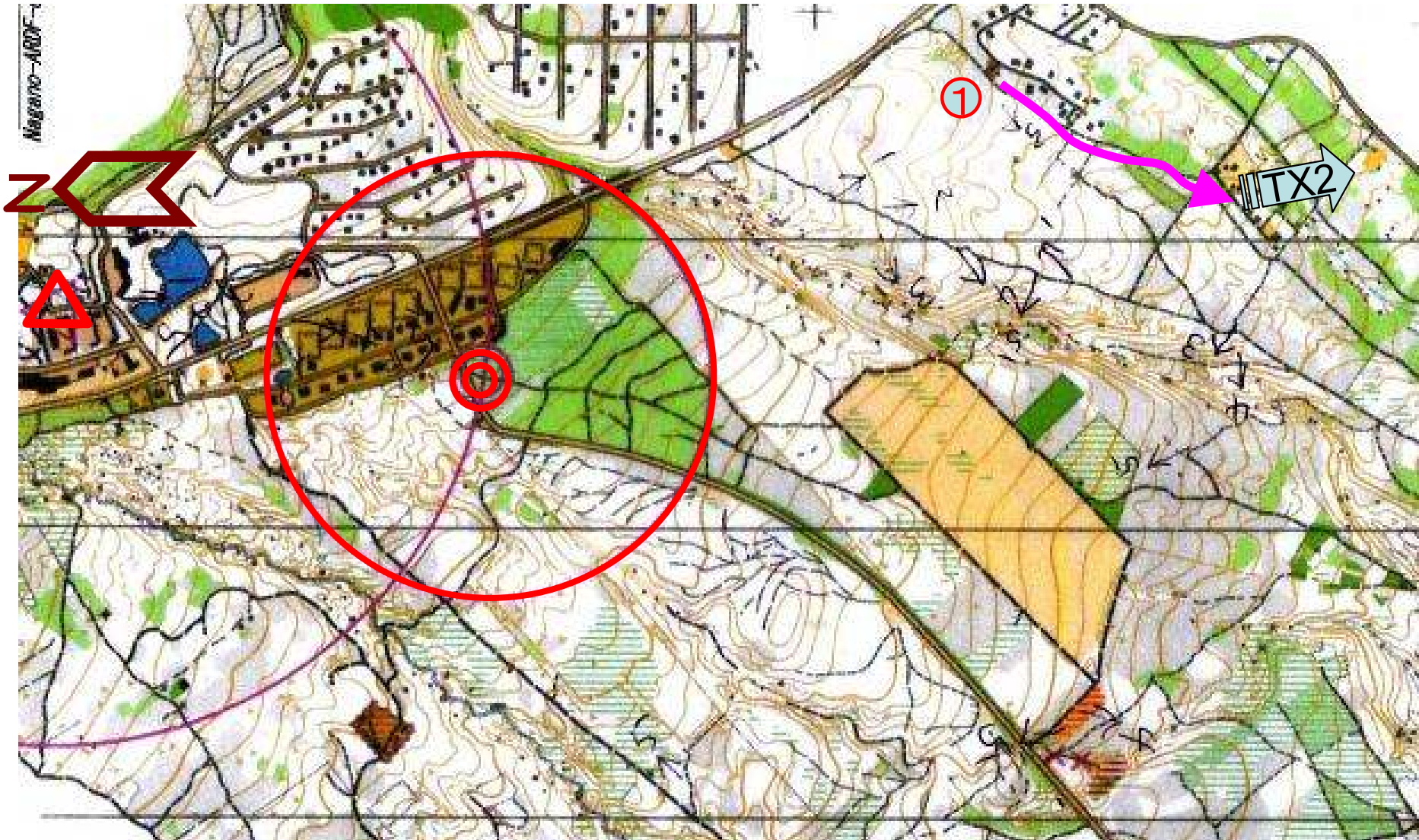
③道Cを下る

道Cの入り口を注意深く探して下る。TX1が鳴く。藪方向だ。もしかしたら一本東側の道の方がよかったかもしれない。でも戻る気力はない。雨上がりの競技では藪に入るとびしょ濡れになるので道を進むことにする。TX2はさらに下った方だ。TX1の次はTX2をターゲットとする。さらに下るとTX1は斜め後ろ方向。TX1は完全に一本東側の道にあることを確心。



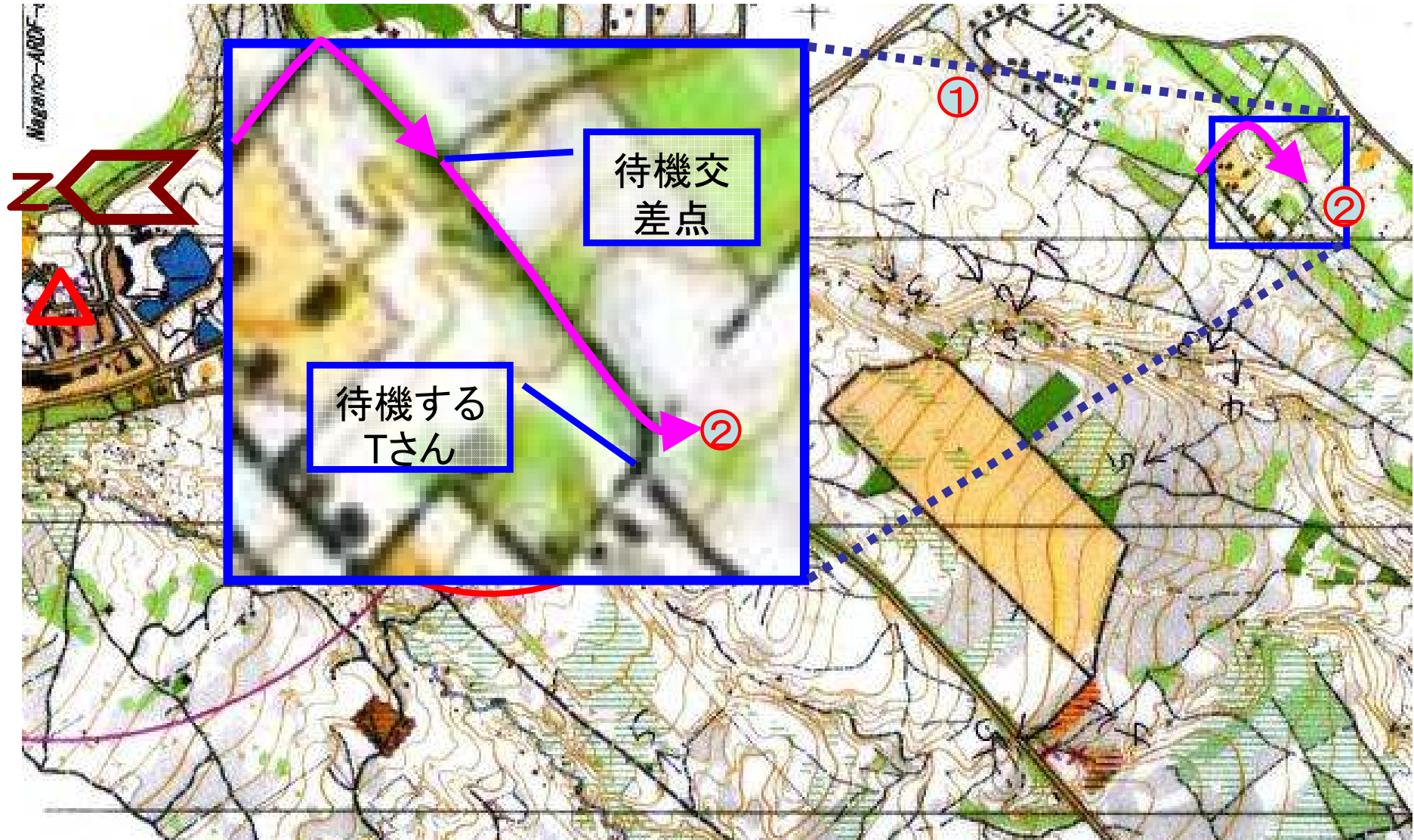
④TX1

まだまだ上の方だ。ヒーコラ登って行くと、西側の藪でTさんが待機している。車道の車の音が聞こえてくる。なんてこったい。こんなに上まで戻ったのか。TX1が鳴く。西側の藪に突っ込んでTX1をゲット。



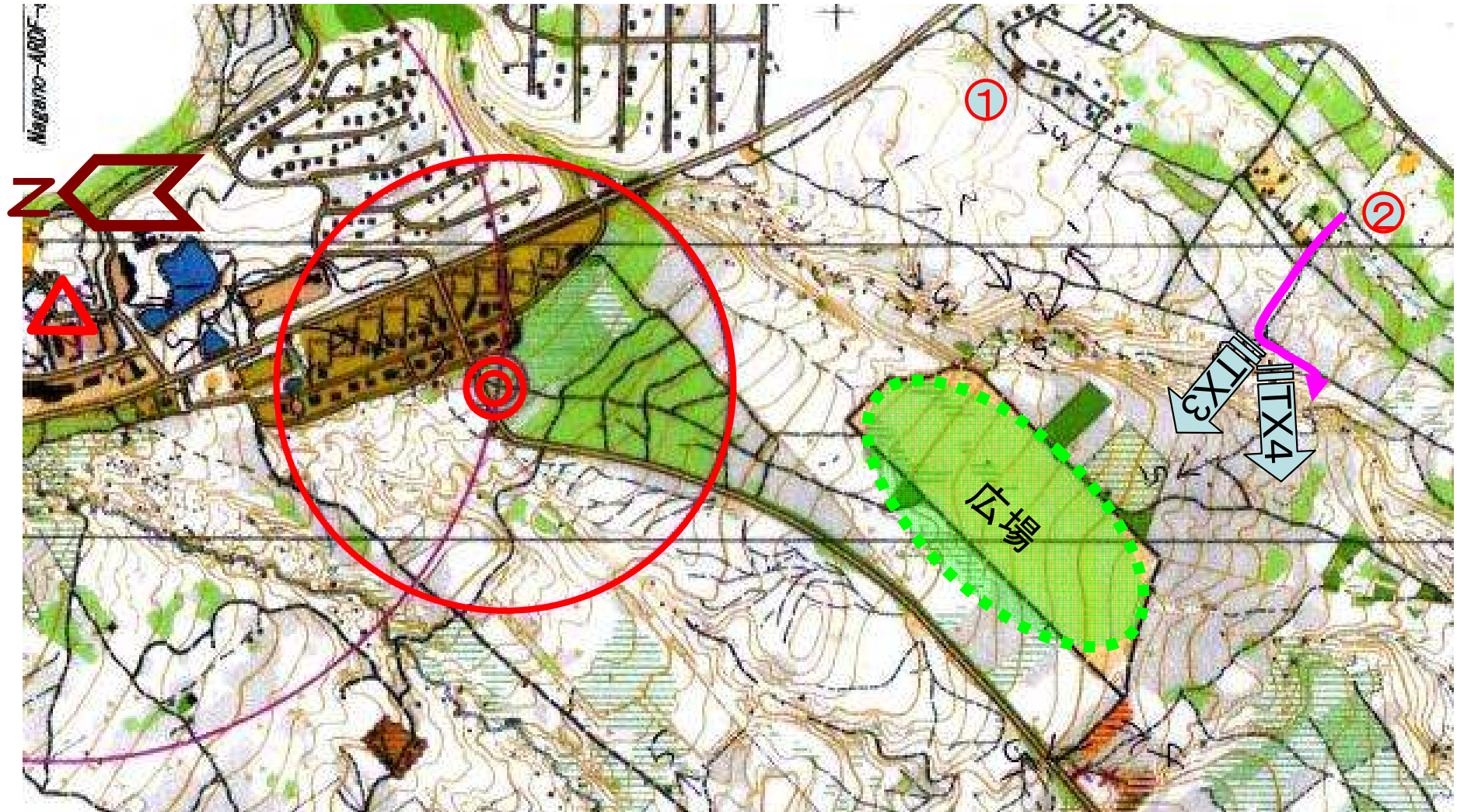
⑤TX2へ向かう
今登って来た道をひたすら南下する。十字路付近で待機していると、真部さんが目の前をまじめに走っていく。TX2が鳴く。一本東側だ。





⑥TX2

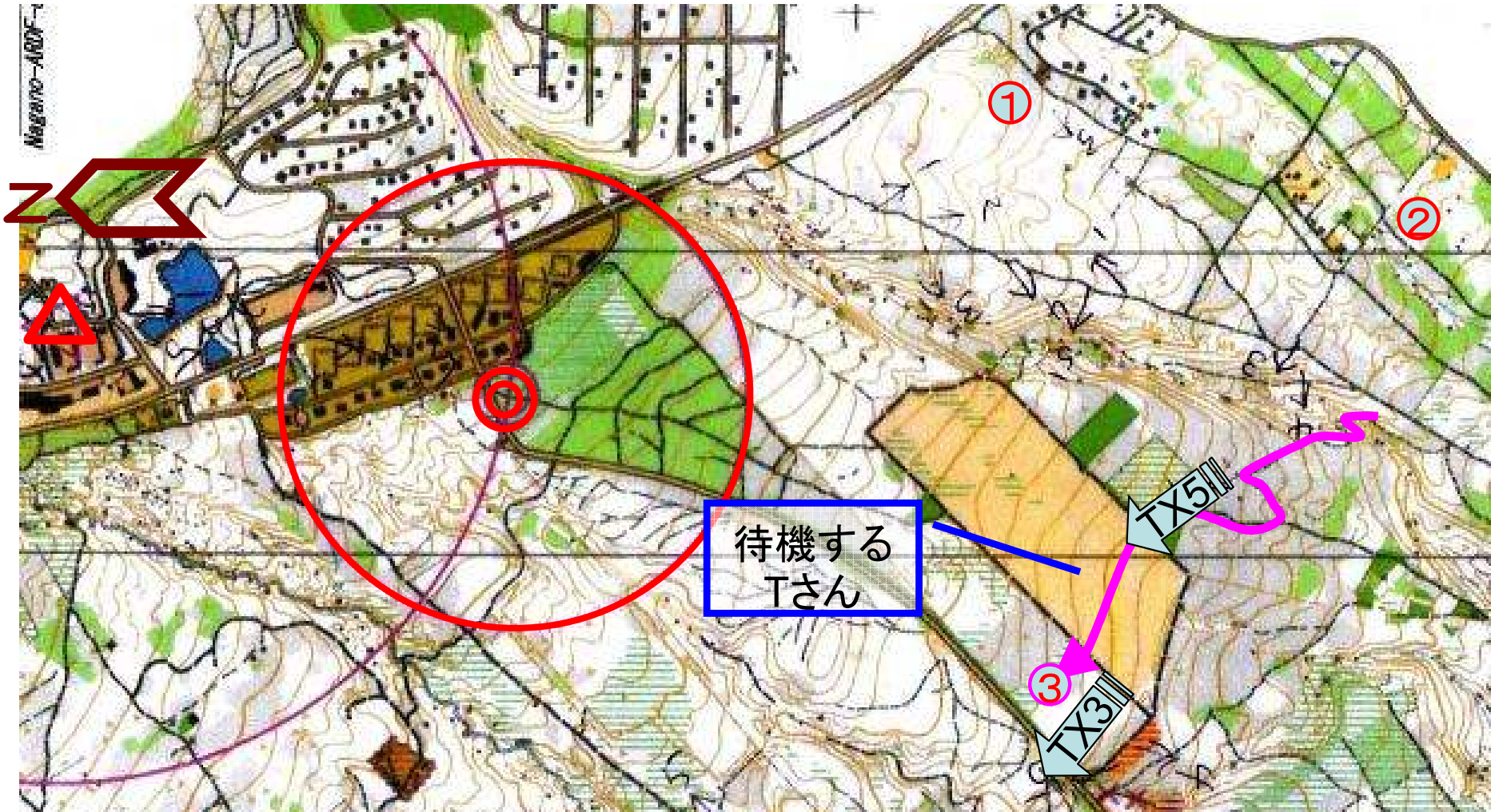
一本東側の道を少し下り、交差点でしばし待機。先ほどのTさんが既にすぐ下の曲がり角で待機している。あれ？いつの間に。TX2が鳴く。Tさんの曲がり角のところだ。しかしTさんは動かない。私はそのまま曲がり角から藪に突っ込みTX2ゲット。



⑦エイミングオフ

TX3は広場付近のため、広場へと向かう。ショートパスしたいが、場所を間違えると藪コギ距離がぐんと長くなる可能性がある。そこで分岐を目印にしてそこから藪に入ることにする。いわゆるエイミングオフだ。

(エイミングオフとは、自位置などが不正確の場合、直接目的地に向かうのではなく、多少遠回りとなってもはっきりとした目標物経由で目的地に向かうこと。OL用語?)



⑧TX3

広場を横断する。すると先ほどのTさんが広場中央で待機している。いつの間に？ 瞬間移動できるのだろうか。Oさんが藪から飛び出てくる。この藪の可能性は高いと思いつつTX3が鳴くのを待つ。TX3が鳴く。やはり藪だ。入り口を探して低い崖を上る。

しまった、帽子を枝に取られ崖下に落ちた。帽子をここにおいてゲット後にまた戻ってくることを考えたが、GPSを帽子につけていることを思い出し、思いっきり手を伸ばし何とか帽子を拾えた。藪を進んでTX3ゲット



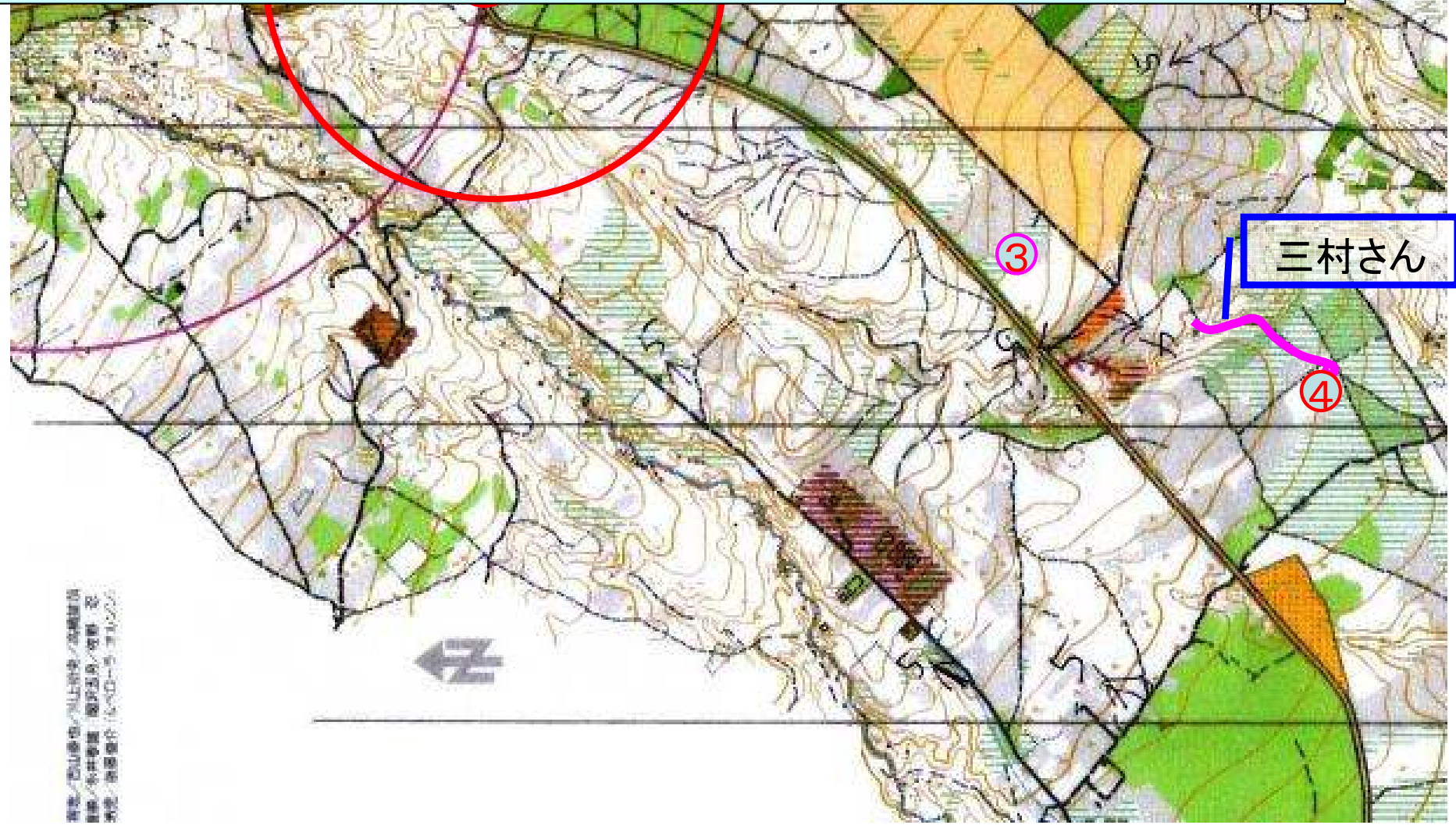
⑨藪からでる

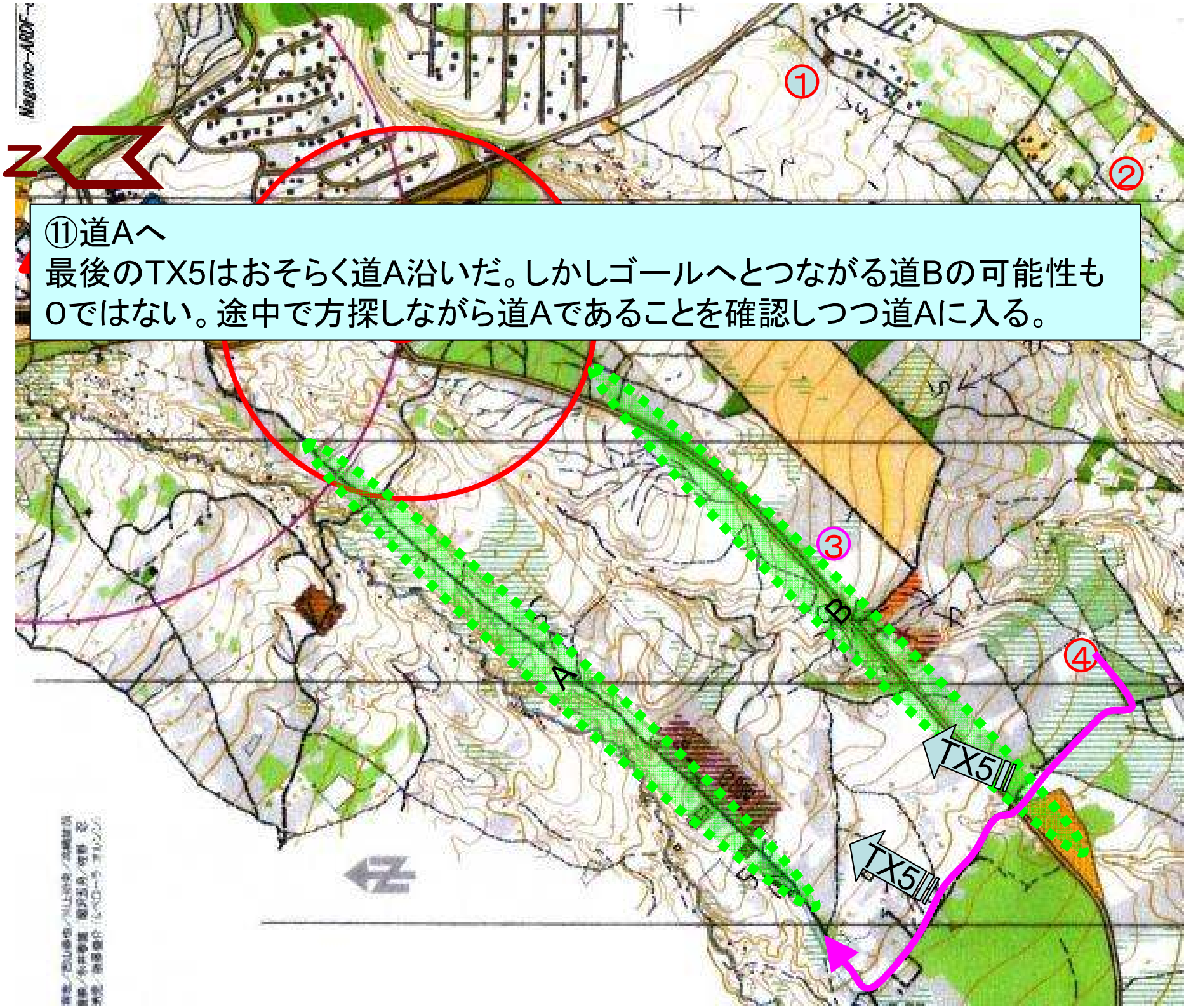
藪から脱出し車道へと向かったところでTX4が鳴く。予想に反して南方向。あわてて方向転換して南に向かう。平地地帯ではあるが、なるべく道らしきところを探して進む。80mくらい離れて平行して国勝さんが進んでいる。





⑩TX4
森に入るところで三村さんとすれ違う。交差点付近で待機。TX4が鳴いたので、藪に突っ込む。間一髪国勝さんに先を越される。やられた。TX4ゲット



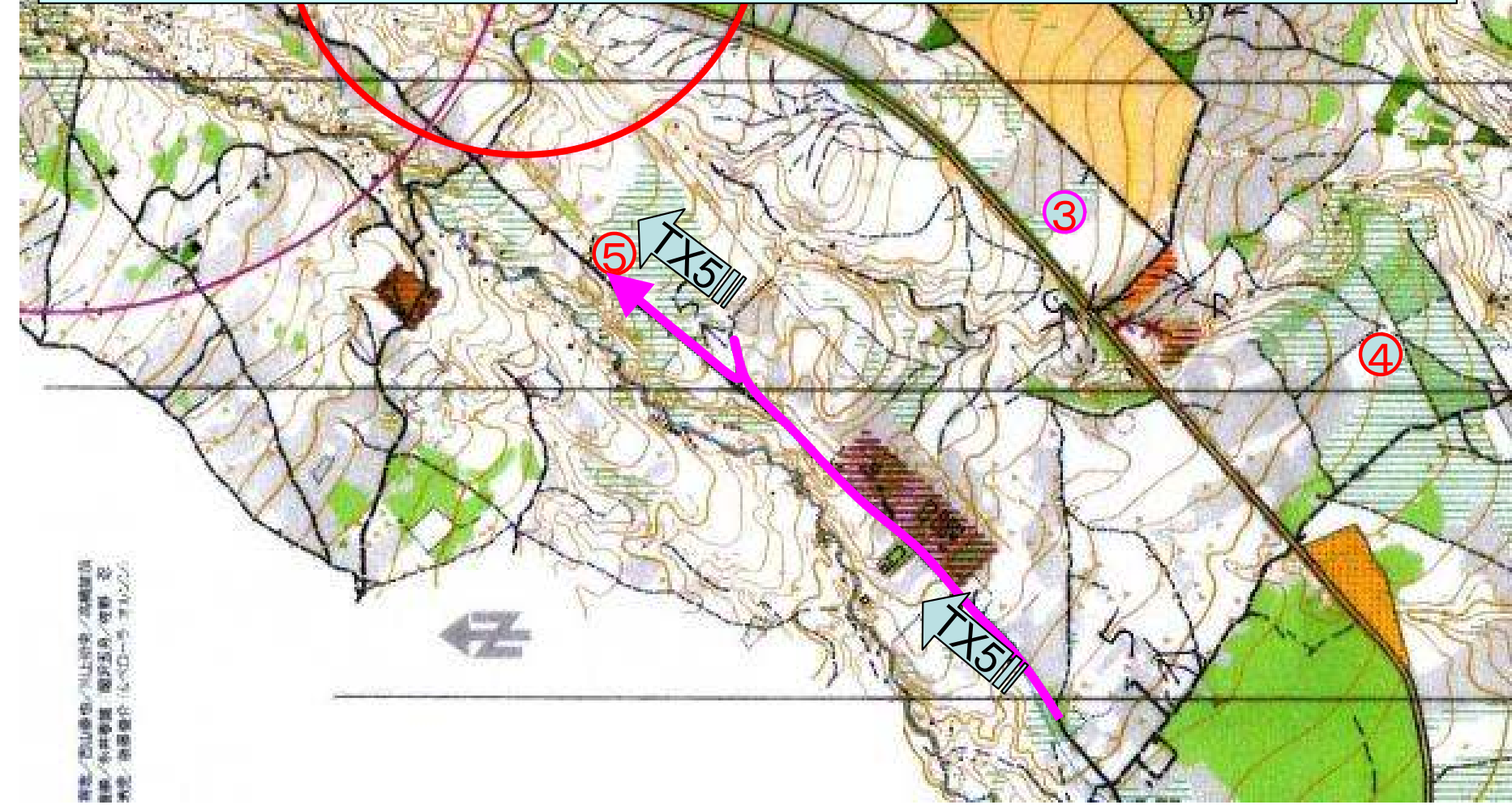


①道Aへ
最後のTX5はおそらく道A沿いだ。しかしゴールへとつながる道Bの可能性も0ではない。途中で方探しながら道Aであることを確認しつつ道Aに入る。

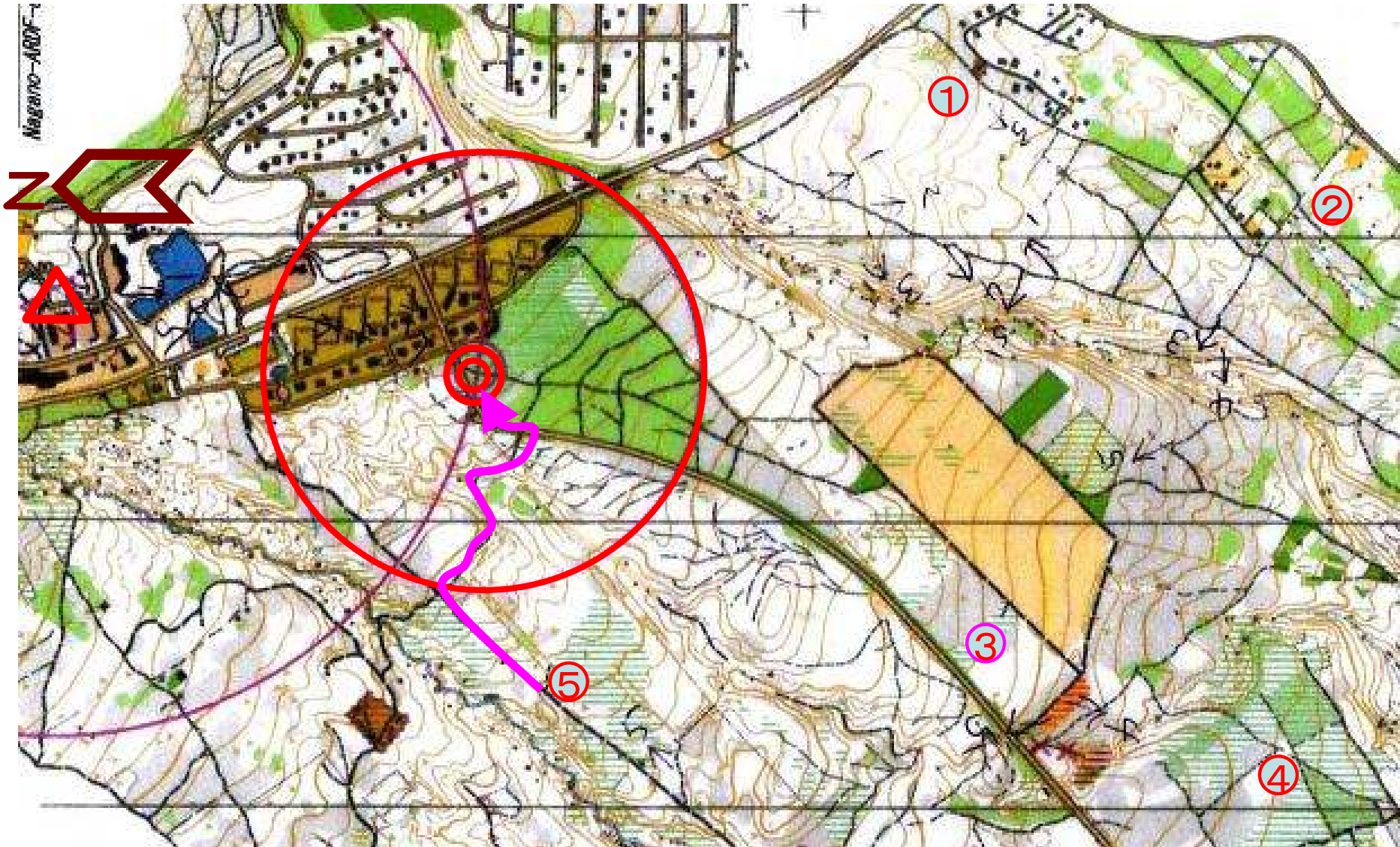
国土地理院 地形図 1:50,000
縮尺 1:50,000
発行年 2015年



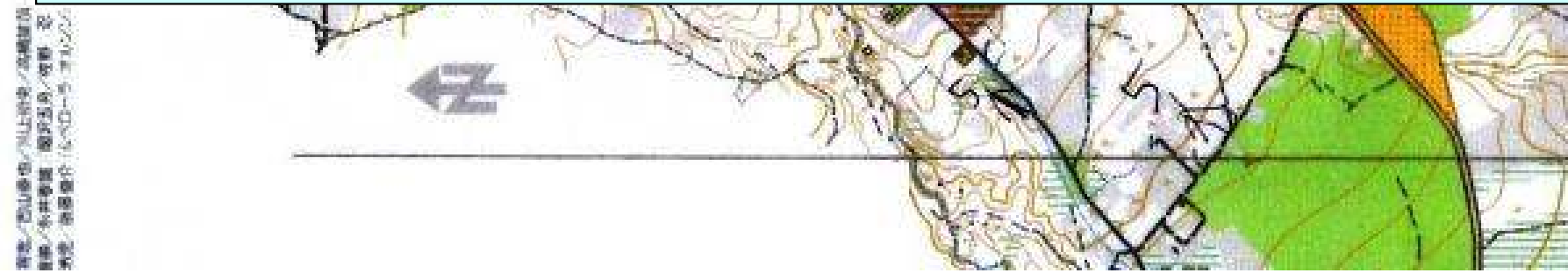
⑫TX5
意外にもこの道は電線が走っている。TX5のタイミングで道を外れながら方探してどんどん上る。分岐形状で自分の位置を確認しながら進む。TX5が鳴く。藪に突っ込みゲット。



東武/西武線/山手線/丸の内線/有楽町線
国土地理院/地形図/地形図/地形図
地形図/地形図/地形図/地形図/地形図



⑬GOAL
ビーコンを聞きながらゴールへと向かう。



おわり



①

①

②

③

⑤

④



反省

◇TX1では結果的に大きく遠回りした。100～200mほど坂を下り始めた時に戻る決心をしていたら、最低限のロスで済んだはずだ。しかし、下ったところを戻る決断は難しいなあ。